

#	分類	種族名	主に授かっている紋章	説明
1	唯人族	唯人（ただびと）	様々	純粹に人間の外見をしている者達。人種も様々。白人系が若干多い。住む地域によって授かる紋章が偏る傾向にある。
2	獣人族	犬人（いぬびと）	《獣》、《心》	直立二足歩行する犬の外見を持つ種族。身長1m程度の個体が多い。好奇心旺盛で素直な性格。どんな環境でもくじけない鋼のメンタルを持つ。
3	獣人族	狼牙（ろうが）	《獣》、《雷》	直立二足歩行する狼の外見を持つ種族。身長は最大で2m程度。獣人族の中ではトップクラスの移動能力を誇る。
4	獣人族	狐火（きつねび）	《獣》、《火》	直立二足歩行する狐の外見を持つ種族。身長は最大で2m程度。獣人族の中では珍しい《火》の紋章を授かっている。
5	獣人族	猫人（ねこびと）	《獣》、《心》	直立二足歩行する猫の外見を持つ種族。身長1m程度の個体が多い。好奇心旺盛だが警戒心も強い性格な者が多い。
6	獣人族	銀虎（ぎんこ）	《獣》、《光》	直立二足歩行する虎の外見を持つ種族。身長は最大で2m程度。獣人族の中では珍しい《光》の紋章を授かっている。銀と黒という派手な毛皮にもかかわらず、《光》の紋章力で姿を消すことができるため、隠密能力に長ける。
7	獣人族	金獅子（きんじし）	《獣》、《命》	直立二足歩行する獅子の外見を持つ種族。身長は最大で2m程度。生命力に優れ、高い耐久力と持久力を持つ。稀に《武》の紋章を授かる者がいることで知られる。
8	獣人族	鼠人（ねずみびと）	《獣》、《闇》	直立二足歩行する鼠の外見を持つ種族。身長1m程度の個体が多い。《闇》の紋章の力でそのほとんどが暗視能力を持ち、地下や洞窟での活動に長ける。
9	獣人族	雪兎（せつと）	《獣》、《氷》	直立二足歩行する白い兎の外見を持つ種族。身長1m程度の個体が多い。その毛皮が極上の手触りを持つため、唯人族に狩られ続けた時代がある。そのため、他種族が寄り付かない寒冷地にコロニーを構えるようになった。
10	獣人族	風馳（かぜいち）	《獣》、《風》	直立二足歩行する馳の外見を持つ種族。身長1m程度の個体が多い。《風》の紋章力を活用した狡猾な立ち回りを得意とする。
11	獣人族	鹿人（しかびと）	《獣》、《魂》	直立二足歩行する鹿の外見を持つ種族。身長は最大で1.5m程度。《魂》の紋章力による霊視能力を持ち、呪術師や霊媒師といった役割を担う。
12	獣人族	馬頭（ばず）	《獣》、《雷》	直立二足歩行する馬の外見を持つ種族。身長は最大で2.5m程度。長距離走が得意。
13	獣人族	牛頭（ぎゆうず）	《獣》、《命》	直立二足歩行する牛の外見を持つ種族。身長は最大で3m程度。《命》の紋章力で強化された怪力が特徴。
14	獣人族	象人（ぞうびと）	《獣》、《命》	直立二足歩行する象の外見を持つ種族。身長は最大で3m程度。その長い鼻が腕のように扱える。
15	獣人族	鎧犀（がいさい）	《獣》、《金》	直立二足歩行する犀の外見を持つ種族。身長は最大で3m程度。その種族名の通り、皮膚が鎧のようになっており、高い防御力を持つ。
16	獣人族	海波（かいば）	《獣》、《水》	直立二足歩行する河馬の外見を持つ種族。身長は最大で3m程度。主に海岸に住むが、淡水でも海水でも平気で活動できる。
17	妖精族	エルフ	《木》	容姿端麗、長寿、《木》の紋章を授かっているといった要素が共通するが、住んでいる地方によって髪/瞳/肌の色がバリエーション豊かである。
18	妖精族	フェアリー	《風》	身長がピンキリで、エルフ並（150cm程度）の者もいれば、60cm程度のものもいる。フェアリーのほとんどが《風》の紋章を授かっており、彼ら/彼女らの飛行能力はその紋章の力によるものである。
19	妖精族	ドワーフ	《土》	身長1m20cm程度。高い筋力と持久力を持ち、手先が器用、走ったり泳いだりするのには苦手、ほぼ確実に《土》の紋章を授かっている。同時に《金》や《武》の紋章を授かっている者も多く、優秀な金属製品と武器の作り手として知られている。
20	妖精族	小人（ビグミー）	《虫》	身長1m程度。農業や牧畜を営み、牧歌的な生活を愛する平和的思想の持主が多い。農産物や畜産物売り歩く商人も多い。《虫》の紋章を授かっているがそれなりにいて、森に生息する巨大昆虫を飼いならして農業（養蜂も含む）や商業（主に輸送）に利用している。
21	妖精族	巨人（ギガント）	《命》	実際には身長が10mを超える個体も存在するが、他の種族と社会を構築しているのは、だいたい身長3m程度の連中である。《命》の紋章を授かっている者が多く、その体力と持久力には定評がある。その恵まれた筋力を使つての土木作業が得意だというのが世間一般の印象で、《命》の紋章による回復術も実は得意だということあまり知られていない。
22	鬼人族	ゴブリン	《闇》	身長1m程度。緑色の肌を持つ。ワイルド種は原始的な生活をしており、非常に繁殖力が高く多産で、生まれた子供は1日で歩き始め、半年でほぼ大人と同じにまで成長する。そのため増えすぎた者を養うために、他の地域への襲撃を行うことがよくある。ノーブル種は計算が得意で、商人として生活するものが多い。この世界ではノーブル種のゴブリンを「ホブゴブリン」と呼ぶことがある。ワイルド種のせいで種族としての評判が低いことを自覚しており、おとなしい性格の者も多い。授かっている紋章は様々だが、比較的《闇》の紋章を授かっているものが多い。
23	鬼人族	オーク	《水》	身長2m程度。灰色の肌を持ち、下の犬歯が長く唇からはみ出しているものが多いのが特徴。全体的に肥満体形の者が多いが、動きが鈍いわけではない。ワイルド種は槍や弓などで魚を取る海洋系の狩猟生活をしている。頭が悪いわけではないので、近年ではノーブル種との混血が進み、大きく人口が減少している。ノーブル種は船舶の作成技術を持ち、泳ぎの得意な海洋民族である。ただ、鬼人族の例に漏れず乱暴者も多いため、海賊となっている連中もいる。授かっている紋章は様々だが、比較的《水》の紋章を授かっているものが多い。
24	鬼人族	オーガ	《雷》	身長2m程度。赤銅色の肌を持ち、性別に関係なく筋骨隆々な種族。ワイルド種は陸上系の狩猟民族である。自然の地形を利用した罠や、その強靱な肉体から繰り出される投石で獲物を狩る。ノーブル種はワイルド種よりも細身だが肉体は引き締まっており、いわゆる「細マッチョ体形」である。総じて戦闘民族として知られ、騎士や傭兵として有名。比較的《雷》の紋章を授かっているものが多い。
25	鬼人族	トロール	様々	身長3m程度。青い肌を持ち、鬼人族の特徴である角を持ちながら、その体格は巨人族に似ており、鬼人族と巨人の血を引いているのではないかとされている。ワイルド種は密林の奥に住み、他の種族とは交流を避けて生活している。稀に《魂》の紋章を授かっている者が生まれ、それを呪術的なリーダーとしてまとめている。ノーブル種はその大柄な見た目と反して繊細な性格のものが多い。それを反映し、《命》、《心》、《魂》、《時》、《死》といった紋章を授かっているものが多い。中でも《命》と《死》の両方の紋章を授かっているものは特に希少とされ、その見た目に関わらず貴族や王族に治療師として召し抱えられることが多い。

#	分類	種族名	主に授かっている紋章	説明
26	竜人族	竜人 (りゅうじん)	《竜》	直立二足歩行するトカゲやワニのような外見を持つ種族。例外なく《竜》の紋章を授かっている。中でも頭部に角があったり、翼を持つような、ドラゴンに近い特徴を有している者は、竜族の中で貴族階級の扱いを受けている。 鱗の色が特徴的で、大きく紅鱗 (こうりん)、蒼鱗 (そうりん)、碧鱗 (りょくりん)、黒鱗 (こくりん)、黄鱗 (おうりん)、紫鱗 (しりん) の6色に分けられ、それぞれの色で部族を形成している。この内、紫鱗の部族は、紅鱗と蒼鱗の両方の血が混ざった者達だと言われている。
27	人獣族	セントール (人馬)	《雷》	馬の首の部分が人間の上半身になっている種族。ケンタウロスとも言う。必ず《雷》の紋章を授かっている。肉体的に強靱な個体は《命》の紋章も授かっていることが多い。 男女比は8:2だが、男女で体格差はほとんどない。伝統的に一番武勇に優れたものが部族を率いるリーダーになるが、女性が率いている群れもある。
28	人獣族	マーフォーク (人魚)	《水》	上半身が人間、下半身が魚の姿をした種族。基本的に遠洋に住んでいるが、地方によって鱗のある魚の下半身を持つ個体と、イルカのような下半身を持つ個体というように人種的な差が存在する。 必ず《水》の紋章を授かっている。さらに男性は《武》、女性は《音》の紋章も授かっているものが多い。男女比は3:7。女性型はマーメイドと呼ばれることもある。男性型の方が体格が一回り大きく、個体数は少ないが勇猛果敢な戦士が多い。
29	人獣族	スキュラ (人蛸)	《水》	上半身が人間、下半身が蛸足の集合体の姿をした種族。蛸足は8本で、成人で2m近い長さを持つ。この足は柔軟性と強靱さを備え1.5倍程度に伸ばすこともできる。必ず《水》の紋章を授かっている。 男女比は2:8。女性型は成長するにしたがって上半身も大人になっていく。男性型は成長しても上半身は少年の姿のままである。肉体的には女性型の方が強い。男性型は知能が高く、《心》、《魂》、《時》といった珍しい紋章を授かることが多いため、識者や賢者のような役割を持っている。
30	人獣族	アラクネ (人蜘蛛)	《虫》	巨大な蜘蛛の背中に人間の上半身がついている姿をしている種族。蜘蛛の頭もあるため、実質頭部が2つある。そして合計で10個の瞳を持っている。発生させる糸は紋章力によるもののため、蜘蛛の尻だけでなく、蜘蛛の口/人間の口、蜘蛛の脚先/人間の指先からも射出できる。必ず《虫》の紋章を授かっている。 男女比は1:9。男性型は女性型に比べて2周以上小さい。希少な上に弱い個体が多いため、繁殖のために隠して育てられることが多い。
31	人獣族	ナーガ (人蛇)	《竜》	人間の上半身に蛇の下半身をした種族。下半身の蛇体は成人で3~5mほどある。必ず《竜》の紋章を授かっている。また種族全体として《水》の紋章を授かっている者も多い。 男女比は7:3。男女で体格差はほとんど無い。女性型が尊重される風習があり、族長や王には女性型が就くのが普通である。
32	人獣族	ハーピィ (人鳥)	《風》	頭部と胴体上半身が人間、腕と下半身が鳥の姿をした種族。飛行を得意としており、崖や険しい山地など、飛行しないとたどり着けないような所に住むことが多い。必ず《風》の紋章を授かっている。 男女比は1:999。つまり部族の99.9%が女性型、残りの0.1%が男性型である。女性型は身長1.5m以下で体重が軽い小柄な者が多い。男性型は成長すると身長1.8mほどまで育つ。その希少性から、男性型の個体を中心にハーレムの形で部族を形成していることが多い。男性型がいない部族も存在する。その部族は他の種族の男性を婿に迎えることで、個体数を維持している。 脚部が股関節から鳥とは異なる特殊な形状をしている。そのため脚部を完全に腕と同じように使うことができる。
33	精霊族	サラマンダー (火霊)	《火》	必ず《火》の紋章を授かっている。身長1.8m程度。炎髪に赤銅色の肌を持つ。男女ともに筋肉質で、大柄な体格をしている。
34	精霊族	ウンディーネ (水霊)	《水》	必ず《水》の紋章を授かっている。身長1.5m程度。蒼髪に白い肌を持つ。細身な者が多い。
35	精霊族	ノーム (地霊)	《土》	必ず《土》の紋章を授かっている。 砂色の髪で褐色の肌を持つ。身長1mほど。外見で小人と間違われることがよくある。 年齢経過で外見が老化していく者といかない者がいる。老化していくものは老人/老婆になっていく。老化しない者は少年/少女の姿のままである。
36	精霊族	シルフィード (風霊)	《風》	必ず《風》の紋章を授かっている。 身長1.5m程度。碧髪に白い肌を持つ。細身な者が多い。見た目より体重が軽い (具体的には同じ体格の唯人族の約60%程度)。
37	混血種	混血	様々	様々な種族との間で混血種が生まれることが可能。